

I 目指す学校像

スクールミッション

「ビジネス教育を核とした教育活動を通して、グローバル化する社会環境の中で自立することができる人材の育成」を目指し、企業や地域等と連携した活動の機会を積極的に活用して、幅広い視野を身に付け、他者と協働し、課題解決能力を高め、望ましい職業観をもち、社会に貢献する人材を育成します。

学校組織

- 基礎学力を身に付けさせるとともに、実践的学習を通して社会人基礎力を育成する学校。
- 国際社会に通用する英語、会計、ICTをツールとして活用できる生徒を育成する学校。
- 激変する社会の中で生徒に明確な将来の目標をもたせ、その実現に向けて支援する学校。
- 生徒が目標をもって主体的に学び、特別活動や部活動等に意欲をもって取り組む学校。
- 良好な人間関係を構築しながら相互に人格を尊重できる品位をもった明るい活発な学校。
- 目標や情報の共有化、学校経営の透明化により、モチベーションとモラルの高い学校。

II 中期的目標と方策

1 独自性のある教育内容や指導方法を追究する。

- (1) 本校のスクールミッション及び3つ（入学・教育課程・卒業）のポリシーに基づき、ビジネス科としての特色化を図り、新学習指導要領への移行とビジネス教育の具体的な取組を推進する。
- (2) 社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）を育成するため、商業高校としての特色を最大限に生かし、地域や企業等と連携を図りながら意図的・系統的にキャリア教育を推進する。

2 生徒、保護者及び地域等から厚い信頼を得る。

- (1) 質の高い教育サービスを確実に提供するため、東京都コンプライアンス基本方針に基づき、教職員相互の協力と理解で同僚性の高い組織を構築する。
- (2) 令和6（2024）年の創立100周年に向けて、本校の伝統と歴史を継承するとともに、「支援」「連携」「調和」をキーワードに時代の要請に的確に応える透明性の高い学校経営を推進する。

[年度]	R4(2022)	[R5(2023)]	R6(2024)	R7(2025)
(創立)	98周年	99周年	100周年(5.14)	101周年
(教育課程)	新教育課程開始	→	新教育課程完成	教育課程の見直し・改善
(100周年)	記念誌編集、祝賀会等検討	記念式典計画・新制服検討	記念式典・祝賀会挙行・記念誌発行	芝商レガシーの定着

III 今年度の取り組み目標と方策

教育活動の目標と方策

学校経営（学校運営）

- (1) 魅力ある教育活動を広く都民に発信するため、PTAや喬松会（同窓会）等との連携を図り全校体制で募集広報活動を行うとともに、学校開放事業により開かれた学校づくりを推進する。
- (2) 立地条件を生かした教育活動を展開するため、中高連携、高大連携、地域連携（島しょ地区を含む）及び企業連携等を推進し、外部人材のもつ多様な教育力を有効かつ継続的に活用する。
- (3) 生徒等の個人情報適切に管理・運用するため、「東京都立芝商業高等学校保有個人情報安全管理基準」等の規定を遵守し関係職員相互による点検・確認等を徹底し、事故ゼロを目指す。
- (4) ライフ・ワーク・バランス等を推進するため、部活動指導員の活用、学校閉庁日の設定、メールによる連絡やTeams等の活用による校務改善に取組み、より一層教育の質の向上を図る。

学習指導

- (5) AFTER コロナの学習を保証するため、一人一台端末を積極的に利用するなどデジタル機器を効果的に活用し、オンライン学習の充実と一人一人の生徒の基礎学力の定着を図る。
- (6) 主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICT機器を活用したデジタル化を推進するとともに、アクティブ・ラーニングやユニバーサルデザイン等の視点を工夫した授業改善に取組む。
- (7) 習熟度別授業や少人数編成授業を実施するとともに、学力スタンダードや技能スタンダードによる明確な学習目標に基づいた指導と観点別評価の定着と充実を図る。
- (8) グランドデザインに基づく新しい教育課程の円滑な実施を目指し、身近な課題を教科と結び付けて思考・判断・表現する場面を設定するなど教科横断的な視点で授業改善を工夫する。

教育活動の目標と方策

生活指導・進路指導

- (9) 心身ともに健やかな成長を促進するため、規則正しい生活習慣の確立、体力の向上や健康の増進等を図るとともに、スクールカウンセラー等と連携して安心して生活できる環境を構築する。
- (10) ビジネスマナーを育成するため、服装検査やノーチャーム等により身だしなみや時間厳守等の徹底を図るとともに、時代に即した指導の在り方を検討し生徒が主体的に行動できるようにする。
- (11) 生徒が希望する進路を実現するため、就職懇談会、進路集会、進路面談や小論文講座等を組織的・計画的に実施して多様な希望を支援するとともに、進路決定後の支援の充実を図る。
- (12) 職業観や勤労観を育成するため、国際ロータリー等と連携した1年生全員のインターンシップの実施や竹芝エリアマネジメント等との連携により組織的・計画的にキャリア教育を展開する。
- (13) 集団生活における規律ある行動や態度を育成するため、学年集会、ホームルーム活動、委員会活動や学校行事、清掃活動や美化活動、部活動等を全て連動するように創意工夫する。
- (14) 共生社会の一員としての自覚を深めるため、特別支援学校との交流や障害者スポーツの体験等を通して誰もが相互に支え合い認め合うことの大切さを経験できる機会を提供する。
- (15) 自助・共助の精神を育成するため、地域と連携した体験的・実践的な防災教育を行うとともに、非常時電力供給を企業と連携するなど災害時帰宅支援ステーションとしての対応力を強化する。
- (16) 教育活動を計画的・効果的に実施するため、自律経営推進予算執行計画に基づきスピーディに予算執行して落差金を活用するとともに、校舎の老朽化に伴う教育環境の整備等に取り組む。

特別活動・その他

重点目標と方策

(学校経営)

学習指導

生活指導

特別活動

- ① 意欲のある生徒を積極的に確保するため、組織的・計画的に学校説明会や体験入学、出前授業等を展開するとともに、本校の特色ある教育活動を周知するための効果的な手段を検討する。
- ② 他者理解や社会貢献の精神を育成するため、竹芝地区まちづくり協議会や福井県池田町、竹芝タウンデザイン等と連携し幅広い年齢層との交流による体験的・実践的な学びの場を提供する。
- ③ 創造的な能力や実践的な態度を育成するため、第1学年「ビジネス基礎」及び第2学年「ビジネスアイデア」及び3学年「課題研究」等におけるこれまでの実践について充実・改善を図る。
- ④ 自ら進んで学習する習慣を育成するため、デジタル機器を積極的に活用するとともに、一人一台端末や学校図書館の効果的活用等により自学自習時間及び読書時間の増加を図る。
- ⑤ 自らの命を守る力や他者の生命を尊重する心を育むため、生徒情報を共有した予見・予防型の生活指導により体罰やいじめ(SNSを含む)等のない安全・安心に生活できる環境を構築する。
- ⑥ 達成感や向上心を育成するため、ビジネスGPを活用し資格取得や検定試験の受験を励行するとともに、学習成果を発表する場を設定し、希望する進路の実現や挑戦する意欲の醸成を図る。
- ⑦ 国際人としての素養を育成するため、東京グローバルゲートウェイや英国研修への参加等を促進するとともに、オリンピック・パラリンピック教育を通して豊かな国際感覚等を醸成する。
- ⑧ 協調性やコミュニケーション能力を育成するため、部活動や生徒会活動、異校種との連携、地域社会での活動等を通して異年齢間における交流活動を展開し、良好な人間関係を構築する。

IV 数値目標 ※()内は昨年度実績

(入学時)	(在学時)	(卒業時)
A 推薦 1.3 倍以上 (1.20 倍)	C 自律経営推進予算執行率 100%(97.5%) D 入学満足度 80%以上(73.52%) E 教育相談満足度 80%以上(77.2%) F 家庭等の学習時間が30分未満の生徒の割合 40%以下(56.6%) G 不読率(1か月に1冊も本を読まない生徒の割合) 20%以下(53.4%) H 進路指導満足度 100%(88.5%) I 全商検定1級合格者 60名以上(39名) J 部活動加入率 100%(87.8%)	K 進路決定率 100% (99%)
B 学力 1.0 倍以上 (0.90 倍)		

三つの柱・SCH

Shiba Commercial High school = Support (支援) Cooperation (連携) Harmony (調和)